

# 地域医療連携だより vol.31 2023.10

## 2023年秋 新機器導入

京都岡本記念病院  
泌尿器科 部長 山田 恭弘

### 小さながんも見落とさない

# 光線力学診断 (PDD) を用いた 経尿道的膀胱切除術

表在性膀胱がんは、経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TURBT) で切除することが可能です。しかし、高い確率で再発することが知られています。再発の原因の一つとして、手術時の小さながんや平坦ながんの見逃しがあります。この課題を解決する新システム「光線力学診断PDD」を導入いたしました。

図1 平坦な病変

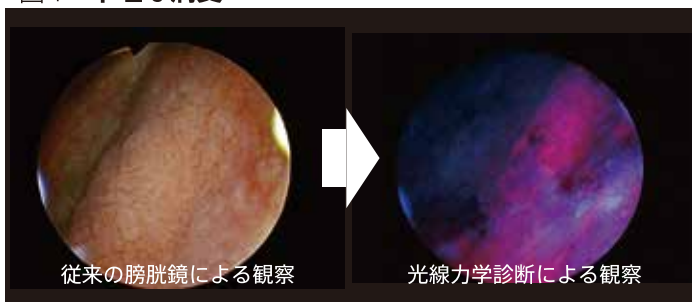
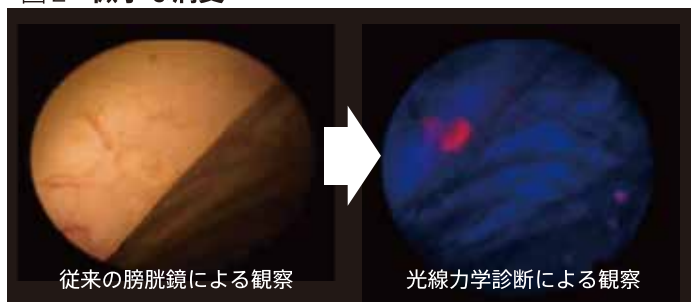


図2 微小な病変



光線力学診断を用いるとがん細胞が赤く光って判別できる

PDDは“見えない膀胱がん”を見えるようにするための新技術「5-アミノレブリン酸 (5-ALA) を用いた光線力学診断 (PDD; photodynamic diagnosis)」です。

通常TURBTでは、白色光のライトを用いて腫瘍を切除しますが、白色光では見えないがんが膀胱内に広がっていることが多々あります。PDDは5-アミノレブリン酸と呼ばれる薬を服用し、手術時に青色の光を発する膀胱鏡を用いることで、がんを赤色に蛍光発光させ可視化することが可能になり、平坦な病変 (図1) や微小な病変 (図2) の検出に役立つことが確認されています。PDDの導入で、より正確な診断、再発率の低減が期待されますので、該当かどうか迷われる患者さんがおられましたら、一度ご相談ください。



泌尿器科  
部長  
やまだ やすひろ  
山田 恭弘

京都府立医科大学卒 (平成12年)

- ・医学博士
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科指導医
- ・da Vinci 支援手術教育プログラム修了
- ・医師の臨床研修に係る指導医講習会修了
- ・日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医
- ・日本内視鏡外科学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医
- ・日本泌尿器内視鏡学・ロボティクス学会 ロボット支援手術プロクター
- ・日本泌尿器内視鏡学・ロボティクス学会 泌尿器腹腔鏡技術認定制度認定医
- ・日本緩和医療学会研修指導医
- ・京都府立医科大学 客員講師

患者さんのご紹介は地域医療連携室へ

## 地域医療連携室

TEL 0774-46-5981 (直通)  
FAX 0774-46-7835 (直通)



社会医療法人岡本病院(財団)

### 京都岡本記念病院

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地